

自分が“世界”と出会う場所

早来地区 義務教育学校 について

はじめに

令和5（2023）年4月、早来地区に義務教育学校が開校します。皆さんにもっと新しい学校について知っていただくため、令和3（2021）年8月号より連載をスタートしました。

今月は、決定した『学校名』の報告や、義務教育学校とした理由など、新しい学校の『校章』を中心にご説明します。

今後広報紙で

紹介すること

今後は、次のようなテーマで義務教育学校に関する情報をお伝えしていく予定です。

5月号 この学校を建てるためにかかる費用などについて、新しい校歌について

6月号 制服のデザインについて

7月号 新しい学校の教育目標などについて

8月号 みんなの学校をつくる会の進み具合などについて

9月号 開校までのスケジュールや進み具合などについて

※皆さんからの質問事項や事業の進み具合などによって、内容を変更することがありますのでご了承ください。

学校名が正式に

決まりました！

今年1月の教育委員会、先月開催された町議会において、新しい学校の名前が決まりました。児童・生徒の皆さんからいただいた意見が尊重され、アンケート調査で最も得票の多かった名前が採用されました。

安平町立早来学園

（あびらちょうりつはやきたがくえん）

早来学園に関する

いろいろな『なぜ』？

ここからは、新しい学校『早来学園』に関する様々な『なぜ』について深掘りしていきたいと思えます。

①義務教育学校にしたのは『なぜ』？

義務教育学校を選んだ理由は様々な中で、今回はすでに義務教育学校としてスタートしている学校に対して行われた調査から見てみたいと思います。

良かったとされる面

・学習面

各教科を担当する中学校の先生が、小学生の授業を担当するなどして、授業の理解が進んだり、学習に悩みを抱える児童生徒が減少するなどの成果があったとされています。

・生活面

特に中学校へ進学する際の大きな環境変化を和らげることができるため、不安を抱えたり、不登校・いじめ・暴力行為などが少なくなるとされています。

・教職員

小・中学校それぞれの先生同士が交流しやすくなることで、学習面や生活面での児童・生徒との向き合い方を学び合うことができると思っています。